

## 第7章 遮断装置に関する Q&A

**Q1** 地震やガス漏れもないのに遮断弁が遮断してしまうのですが、どのような原因が考えられますか？

**A1-1** 遮断弁、感震器が衝撃や振動を受けやすい場所または不安定な状態で設置されている場合は誤作動することがあります。道路から離れた場所に移設したり、感震器、配管をしっかりと固定する必要があります。

**A1-2** 無線などのノイズを拾って遮断弁が誤作動することがあります。制御器と遮断弁の間を接続する信号線を、シールド線を使用しノイズ対策を行ってください。

**Q2** 遮断装置が作動してガスが止まりました。ガスが使えるようにするにはどうしたらよいですか？

**A2** 遮断したときは以下の操作を行ってください。

燃焼器具の器具栓および未接続のガス栓を閉めて下さい。

遮断装置にリセットボタンがあるものは、ボタンを押して下さい。

復帰ボタンのキャップを外して復帰ボタンを押して下さい。

遮断弁制御器があるものは、制御器の開ボタンを押して下さい。

遮断弁のツマミを引く構造のものはツマミを引いて下さい。

遮断装置に復帰安全確認機構がある場合、確認時間の間、待って下さい。

ガスが使用できます。

注) ガスくさいときやガス漏れ警報器が鳴ったときは、復帰する前に以下のことに注意して下さい。

タバコの火など屋内の火気はすべて消して下さい。

窓や戸を開け、自然換気して下さい。

換気扇、扇風機などの電気器具のスイッチを操作しないでください。

**Q3** 遮断装置はどんな時に遮断しますか？

**A3** 遮断装置の種類、接続機器により、以下の場合に遮断します。

ガス漏れ発生時。

地震発生時。

ガスの圧力が低下した時。

**Q4** 遮断装置が開きません。どうしたらよいですか？

**A4** 遮断装置が開かないときは以下のことが考えられます。

器具栓または未接続のガス栓が開いている。

ゴム管等接続具が外れている。

復帰安全確認中にガスを使用した。

ガスの圧力が低下している。

Q5 遮断装置の交換期限は何年ですか？

A5 交換期限は製造年月から 10 年です（ガス漏れ警報器の交換期限は製造年月から 5 年です）。

Q6 遮断装置を交換するのに資格は必要ですか？

A6 液化石油ガス設備士の資格が必要です。